

プラスチック製容器包装の環境配慮施策

施策項目		定義
A : リデュース <材料投入量削減、他素材への代替によるプラスチック使用量削減>	A 1 : サイズ変更	容器包装のサイズ（幅、高さなど）を小さくする
	A 2 : 薄肉化	容器包装の厚みを薄くする
	A 3 : 形状・形態変更	形状・形態を変更する ^{*1}
	A 4 : パーツの削除	容器包装を構成、あるいは附属のパーツ ^{*2} を削除する
	A 5 : 材質変更	材質変更、あるいは複合材質の構成を変更する
	A 6 : 素材変更	他素材と複合化、構成を変更、他素材へ変更する
B : リユース <リユース化>	回収・再充填・販売システム化	再使用可能な専用容器に充填した製品を、使用後に回収・再充填・再使用する販売システムを導入する
C : リサイクル <リサイクル適性の向上>	C 1 : 単一素材化	容器包装、あるいは附属のパーツを単一素材化する
	C 2 : 分別容易性	分離し易い、あるいは解体し易い等の構造にして、分別排出しやすくする
	C 3 : 減容化	つぶしやすい、あるいは小さくしやすい等の構造にして、分別排出しやすくする
D : Renewable <再生可能資源の選択>	D 1 : 再生プラスチックの利用	再生プラスチックを原材料として利用し、従来品、同等品に比べてバージン材の使用量を削減する
	D 2 : バイオマスプラスチックの利用	バイオマスプラスチックを原材料として利用し、従来品、同等品に比べて化石資源由来のプラスチック量を削減する
	D 3 : 生分解性プラスチックの利用	生分解性機能を活用した容器包装（コンポスト用等）として利用する
	D 4 : 認証材の利用	第三者認証された材料を利用する
E : その他環境負荷低減		ライフサイクルの様々な段階での環境負荷低減 ^{*3}

* 1 : 詰め替え・付け替え用製品化等は当項目に該当

* 2 : 過去の事例では、トレイ、アイキャッチシール、スプーン、ストロー等

* 3 : 過去の事例では、省エネルギー化、再生可能エネルギー使用、水使用量削減、生産工程効率化、輸送効率向上、食品ロス低減、バイオマスインク使用、バイオマスマーケット商品認定など